



2018(平成30)年5月号

### 正信偈

境内の木々が青く茂り、初夏の季節になりました。つい先日まで寒い寒いと言いつつ暖房をつけていたが、暖かさを通り越して汗ばむ陽気になつてきました。また、ビールの美味しい季節になってきましたね。私を含め、好きな方はくれぐれも飲み過ぎにはご注意ください。

さて、今号では「正信偈(しようしんげ)」について味わわせていただきます。「正信偈」(正式には正信念仏偈)は私たち浄土真宗の門徒として、一番親しみのあるお経と言えます。当会館でも、毎朝お勤めをしています。

宗祖親鸞聖人は、『教行信証(きょうぎょうしんしょう)』というお書物を稲田の草庵(現在の茨城県)でご執筆されました。当時、聖人は50歳くらいだったといわれています。『教行信証』は、全6巻で構成されており、浄土真宗の根本聖典であることから、本願寺派(お西)では「御本典」と呼ばれています。

「正信偈」は、『教行信証』の行巻の終わりに著されています。60行120句の短い偈文ですが、この中に浄土真宗のみ教えの要や、み教えがどのように伝えられたかという事が簡潔に示されています。「正信偈」の構成は、最初の2句である、

**「帰命無量寿如来 南無不可思議光」**

と始まる帰経序といわれる部分、そして依経段(えきようだん)と依釈段(えしやくだん)に分類されます。

普段あまりお寺にご縁のない方も、お経の最初に「きみよゝむりよゝ」というのは聞いたことがあると言われるように、「正信偈」は馴染みのあるお経なのです。第8代本願寺宗主・蓮如上人の頃、「正信偈」に「念仏」と6首の「和讃」を加えてお勤めされるようになり、現在に至ります。

また、日常的によくお勤めされるのが「草譜(そうふ)」、歴代宗主の御命日などにお勤めされる「行譜(ぎょうふ)」、親鸞聖人の御命日一月十六日の朝、年に一度だけお勤めされる「真譜(しんぷ)」という節があります。

「正信偈」の最初の2句は、親鸞聖人の阿弥陀如来に対する敬いの心が表されています。「無量寿」という限りないのち、「不可思議光」という思いはかることのできない光は、私たち人間のはからいを超えた大いなるはたらきです。如来のはたらきに、ただただ敬いおまかせすることが、冒頭に述べられています。

さて「正信偈」は短いお経だと前述しましたが、「草譜」のお勤めは約25分かかりますので、私が子どもの頃はとても長く感じられました。当会館のご法座で「正信偈」がお勤めされる時、お参りする小学2年の長女も同じようなことを言います。ですが、最近では長いと言いつつ、大きな声でお勤めできるようになり、親としては嬉しい限りです。

私は現在、毎朝「正信偈」をお勤めしていますが、鑿(きん)を2回打つて、「きくみよゝむりよゝ」と読むと、今日も一日が始まったなと思います。皆さまも一日の始まりに当会館のお晨朝にどうぞお参りください。毎朝7時よりお勤めしています。

# 仏事あれこれ

## 仏事のQ&A

Q. お香をたく理由はなに？

A. 浄土と仏さまの慈悲の心に触れる

お香は体臭などの悪臭を除き、心身ともに落ちつかせてくれることから、これを仏前にお供えすることが早くから行われてきました。お香の芳しい薫りで身を包み、すがすがしい気持ちで尊敬する仏さまに接してきます。

また、そうしたお香をかぐことによつて清らかな浄土を想い、さらには、誰かれと差別することなくゆきわたるお香の薫りから、仏さまのわけへだてなく注いでくださる慈悲のお心に触れるという意味もあります。

ところで、そのお香の種類は、一般家庭では線香と焼香用のお香ぐらいではないかと思えます。いずれも香炉にくべるのは言うまでもありませんが、香炉にも種類があり、使い分けら

れています。

まず、日常的に使われる線香は、土香炉と呼ばれる口の広い陶磁器製の香炉で燃やします。この際、線香は立てずに、短く数本に折って寝かせます。

次に、法事などの改まった時に行う焼香は、フタのついた金属製の金香炉を用います。つまり、火種を入れて使用するのが金香炉なのです。ときどき金香炉では口が狭く、カタチの上からも線香を寝かせるには適しません。どうぞ土香炉を用いてください。

ただ、大勢の方がたが次々に焼香するようないわゆる「回し焼香」の場合などは、お仏壇の金香炉では小さすぎる場合があります。そんな時は土香炉を代用してもよいでしょう。なお、回し焼香される場合、お盆を用意し、左側に香炉を、右側には刻んだお香を入れた香盒（こうごう）といわれる容器を置きます。

焼香に使うお香には沈香、十種香、五種香などがあります。なるべく薫り

よいお香をお使いください。

香炉の配置については三具足としてローソク立て、花瓶とともに、金・土両香炉を前後に並べて置くのがかたちですが、並べて置くスペースがない場合は、焼香する場合のみ金香炉を前卓に置き、それ以外は土香炉を置きます。

『新・仏事のイロハ』より抜粋

### 平成30年の年回表

(ご法要のお申し込みをお忘れなく)

平成30年 年回表	
1周忌	平成29年
3回忌	平成28年
7回忌	平成24年
13回忌	平成18年
17回忌	平成14年
23回忌	平成8年
25回忌	平成6年
27回忌	平成4年
33回忌	昭和61年
50回忌	昭和44年



土香炉と香盒

# 4月行事の様子

## ★はなまつり 4月16日(日) 10時～15時

午前の部では、子ども会や近隣のスカウト達など36名の参拝があり、午後の部では、初縁の方を含め21名の参拝でした。

### お勤め、法話



### みんなで楽しくゲーム



### 灌仏（甘茶かけ）



### 参加した子ども達と記念撮影



### お菓子のつかみ取り！



### 法要「正信偈」



### 灌仏



### 南條了瑛師



### お菓子のつかみ取り



ご講師の南條先生は、2回目のご縁で、はなまつりをテーマにとてもわかりやすくご法話いただきました。ご法座終了後は、お菓子のつかみ取りで盛り上がりました。

# 東久留米会館の 行事案内

—Schedule—

## 5月の行事予定

### 常例法座

ご講師 横内 教順師  
(東京都 称名寺)



5月13日(日) 午後1時～

どうぞ、お気軽にお参りください。

### 親鸞聖人御命日お晨朝総参拝

月に1度、朝のお勤めにお参りしませんか?  
お供物のおさがりをプレゼントいたします。

5月16日(水) 午前7時～

### おみがき・境内清掃

降誕会に向け、本堂の仏具・境内の清掃を  
行います。ご協力よろしくお願ひいたします。

5月20日(日) 午前10時～

## 6月の行事予定

### 降誕会・奉讃会総会

ご講師 福井学誠師  
(埼玉県 吉見布教所浄泉寺)



6月3日(日) 午後1時～

宗祖親鸞聖人のご誕生をお祝いする法要です。  
懇親会も行いますので、是非ご参加ください。

### 第1回キッズサンガ子ども会

小中学生対象です。小さなお子さまは、  
保護者同伴でご参加ください。

6月16日(土) 午前10時～

### 境内清掃

境内の草取りを中心に清掃いたします。  
※雨天時は中止となります。

6月30日(土) 午前9時～

### お仏飯米ご進納のお願い

当会館では、皆さまからのお仏飯米  
を随時受付しております。いただいた  
お仏飯米は、お晨朝(朝のお勤め)に  
お供えしております。皆さまのご協力  
よろしくお願ひいたします。

### 編集後記

暖かくなり、時間が空いた時は子ども達と外で遊ぶことがあります。遊ぶといっても、長女は主に自転車に乗る練習、長男は三輪車を漕ぐ練習です。一朝一夕で上手いきませんが、地道に努力しています。教える方としては、何とももどかしく思いますが、「我慢、我慢」と自分に言い聞かせて練習に付き合う日々です。(安)

東久留米会館会報 「ともしび」

第265号

発行日 2018年5月1日

発行者 安邊 泰教

住所 東京都東久留米市柳窪5-8-30

電話 042-474-6787